

アメリカ型スポーツ経営Ⅰ

科目ナンバリング SPS-322
選択 2単位

川上 祐司

1. 授業の概要(ねらい)

「アメリカ型スポーツ経営Ⅰ」では、アメリカ4大プロスポーツリーグである「National Football League(NFL)」「Major League Baseball(MLB)」「National Basketball Association(NBA)」「National Hockey League(NHL)」を中心に上げ、その歴史、経営理念、ビジネスモデル、マーケティング戦略などを解説し、アメリカにおけるスポーツビジネスの基礎知識などについて学習する。様々な時代背景、市場の変化の中、なぜアメリカスポーツ市場は今のなお発展と成長を遂げているのか？ますます高度化するスポーツパフォーマンス、地域に根づくフランチャイズ性、スポーツを取り巻く市場経済との関係とは。世界最高峰のスポーツリーグおよびチーム経営とスポーツビジネスモデルを学ぶ。

尚、小職は毎年、アリゾナ州スコッツデール市で3月に開催されるMLBサンフランシスコ・ジャイアンツのスプリングトレーニングキャンプ「カクタス・リーグ」に帯同してきた。本授業においてはアメリカのスポーツ現場、大学、行政で入手した最新情報の教材として用意し実施する。

2. 授業の到達目標

まずは「スポーツの本質」を理解する。National Pastimeの由縁は？なぜわが国ではスポーツ文化が定着しないのか？なぜスポーツビジネスが発展しないのか？アメリカの歴史的・文化的・産業的背景より紐解き、アメリカスポーツのビジネスモデル・ロジックを理解する。さらに、わが国におけるスポーツ文化発展に向けた持論の構築、およびビジネスモデルを模索する。

3. 成績評価の方法および基準

*出席点はありません(ただし要打刻) 以下より総合的に評価する(100点満点)

①期末試験:55点満点(筆記、小論文)

②レポート:期中に課題レポート3回実施。45点(15点×3)

4. 教科書・参考文献

教科書

川上祐司著 『メジャーリーグの現場に学ぶビジネス戦略ーマーケティング、スポンサーシップ、ツーリズムへの展開ー』 昇洋書房

*当日授業で使用するテキストデータは前日までにLMSにアップするので必ず参照のこと

参考文献

川上祐司著 『アメリカのスポーツ現場に学ぶマーケティング戦略ーファン・チーム・行政が生み出すスポーツ文化とビジネス』 昇洋書房

川上祐司著 『新型コロナウイルスの影響にみるプロスポーツビジネスのエスノグラフィーー2020MLBスプリングトレーニングキャンプを顧みてー』 帝京経済学研究

川上祐司著 『プロスポーツにおける戦力均衡がリーグおよびチーム経営に及ぼす影響ーアメリカプロスポーツリーグ

「NFL」「MLB」を事例にー』 帝京経済学研究

川上祐司著 『ダイナミックプライシングの価格設定要因の一考察ーMLB San Francisco Giantsのチケットセールスを事例にー』 帝京経済学研究

川上祐司著 『アメリカ型スポーツリーグおよびチームマネジメントの一考察』 帝京経済学研究

George Foster, Norman O'Reilly 『Sports Business Management: Decision Making Around the Globe』

グレンM・ウォン 川井圭司 『スポーツビジネスの法と文化』 成文堂

5. 準備学習の内容

授業テキストは拙書および前日までにLMSにアップするPPTデータを使用するので必ず資料確認すること。また、当日授業では出来る限りパソコン持参でLMSにアクセスして受講すること。

昨今の一般的スポーツビジネスに関する話題を有して授業に臨むこと。さらには国内一般紙および日本経済新聞を必読のこと。加えてSports Business Journal, またスポーツ専門サイト等より海外スポーツビジネス動向にも関心を高めること。授業テキストは拙書および前日までにLMSにアップするPPTデータを使用するので必ず資料確認すること。また、当日授業では出来る限りパソコン持参で受講すること。

6. その他履修上の注意事項

本科目の履修者は更なるアメリカスポーツ文化とビジネスの理解を深めるため「アメリカスポーツマネジメント研修」「アメリカ型スポーツ経営Ⅱ」の履修が望ましい。また、マーケティングの理解を深めるために「スポーツマーケティング概論Ⅰ」の履修も望ましい。

本授業は出席することが目的ではありません(よって出席点はありません)。また「スポーツが好きだから」スポーツ経営の科目がある訳ではありません。世界最高峰のアメリカにおける最新のスポーツビジネス・経営手法を理解し、停滞するわが国スポーツビジネスを牽引する人材育成に向けた高度なスキルとノウハウ、理論の習得が目的です。その旨を十分理解して履修するようにして下さい。

川上の授業では、スポーツの”手段を紹介”するのではなくスポーツの本質を捉えた”目的の理解”への教授になります。本履修学生(特にスポーツ経営コースの学生)にはわが国のスポーツ文化発展・構築に貢献できる人材として今後の活躍を期待しています。

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーションおよびガイダンス
・授業の進め方、評価方法、留意点、約束事項を確認する
・スポーツマネジメントとは

【第2回】 近代スポーツの歴史を理解する
・プロフェッショナルとアマチュアリズム、アメリカスポーツの歴史について学ぶ、アメリカスポーツ市場について学ぶ

【第3回】 ・アメリカ4大プロスポーツリーグ概要を理解する
・ビジネス市場・規模・特徴、ビジネスモデルについて学ぶ

- 【第4回】 利潤最大化としてのプロスポーツリーグを理解する
・収支構造、リーグ経営とマネジメントモデルについて学ぶ
- 【第5回】 利益最大化としてのプロスポーツチームを理解する
・プロスポーツチームの経営とマネジメントモデルについて学ぶ
- 【第6回】 スポーツマーケティングを理解する①
・チケット、放映権、スポンサーシップ、マーチャンダイジングについて学ぶ
- 【第7回】 スポーツマーケティングを理解する②
・チケット、放映権、スポンサーシップ、マーチャンダイジングについて学ぶ
- 【第8回】 スポーツマーケティングを理解する③
・チケット、放映権、スポンサーシップ、マーチャンダイジングについて学ぶ
- 【第9回】 戦力均衡(Competitive Balance, Parity)とスポーツビジネスの関係を理解する①
・レベニューシェア、戦力均衡を測定するハーフィンダール・ハーシュマン指数について学ぶ
- 【第10回】 戦力均衡(Competitive Balance, Parity)とスポーツビジネスの関係を理解する②
・サラリーキャップ、贅沢税、ウェーバー制ドラフトについて学ぶ
- 【第11回】 アメリカスポーツの労使関係を理解する①
・保留制度、反トラスト法、労働組合、保留制度の終焉について学ぶ
- 【第12回】 アメリカスポーツの労使関係を理解する②
・オーナーとコミッショナー、フリーエージェント制度、共同謀議について学ぶ
- 【第13回】 アメリカスポーツの労使関係を理解する③
・統一契約書と労働協約、スポーツエージェントビジネスについて学ぶ
- 【第14回】 ヨーロッパプロスポーツビジネスとの違いを理解する
・アメリカのスポーツ振興政策、スポーツ先進国について学ぶ
- 【第15回】 まとめ(オンライン)
・これまでの振り返りとまとめを行う